

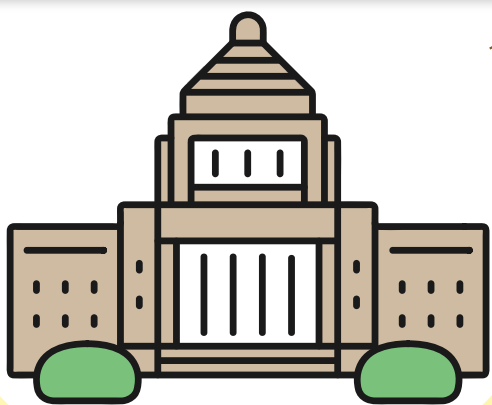
2026年度（令和8年度）から

「子ども・子育て支援金」 が始まります！

子ども・子育て支援金制度は、子どもや子育て世帯を
社会全体で支える仕組みです。

2026年（令和8年）4月分から、健康保険料・介護保険料に
上乗せする形で、子ども・子育て支援金の負担が始まります。

国



2026年度の
支援金率は
0.23%です

支援金を
納める

みなさんから集めた支援金は、
健保組合で使うことはなく、
国による少子化対策や子育て
支援にのみ使われます。

国に代わって加入者の
みなさまから支援金を
集め、国に納めます

健康保険組合



詳しくはこちら



こども家庭庁HP

事業主・被保険者



健保組合の保険料と
あわせて支援金を納める

一般保険料
+
介護保険料
(40歳以上の方)
+

子ども・子育て支援金

2026年（令和8年）
4月分保険料＝5月
納付分から徴収します

子ども・子育て支援金 誰がどのくらい負担するの？

- ▶子どもがいる・いない等に関係なく、**事業主とすべての被保険者が負担の対象**となります。
- ▶支援金の負担額は、
月給（標準報酬月額）× 国が示す支援金率
で決まります。
- ▶支援金率は2028年度（令和10年度）にかけて段階的に
上がる見込みです。
 - 2026年度（令和8年度） 0.23%
 - 2028年度（令和10年度） 0.4%程度
 - ： 2028年度の負担が
： 上限となります

【被保険者一人あたりの負担額（2026年度）】

例 月給（標準報酬月額）30万円の場合の月額

30万円×0.23%＝690円／月

事業主と被保険者で折半



事業主
345円



被保険者
345円

※子ども・子育て支援金は、賞与にもかかります。